

人間と生活・社会の理解

基礎分野

授業科目	発達心理学	講師	氏名	萬松恭代	開講年次	単位・時間	
			所属				
			実務経験	臨床心理士 公認心理師	1年次 前期	1単位 20時間	
科目のねらい	看護の対象である人間を生涯発達し続ける存在として理論を用いて捉える。ライフサイクル各期の身体的・心理的・社会的特徴と発達課題、特徴的な疾病について理解する。「個人差」のある人間の精神発達の基礎的な知識を身につける。						
到達目標							
知識・技術	1. ライフサイクル各期の身体的・心理的・社会的特徴、遺伝や環境が及ぼす影響、発達課題を述べることができる。 2. 発達心理学の専門用語について説明できる。						
思考 判断・表現	1. 人間の発達には「個人差」があることを踏まえ、ライフサイクル各期におこりやすい問題を考察できる。						
主体的学習 態度	1. 発達し続ける人間を自分自身に照らし合わせながら関心を深める。						
科目評価	定期試験(筆記)50% レポート20% 小テスト30%(10点×3回) 合計100%						
テキスト	新体系看護学全書 基礎分野 心理学 (メヂカルフレンド社)						
参考文献	看護のための人間発達学 (医学書院)						
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項
		講義	演習	その他			
1	発達とは	○			萬松恭代 教育学 各専門看護学 心理学 こころを見る 子どもの病を見る 高齢者看護へようこそ 小児の発達と看護 こころの働きと精神保健 成人看護学総論	テキストの該当箇所を読み、キーワードを調べレポートに記載する。  小テストは3回15分間で実施する。	
2	発達段階と課題	○					
3	エリクソン・ハヴィガースト	○					
4	幼児期の発達と支援	○				講義①～③の内容を、講義④の15分間で実施する。	
5	愛着理論 (ボウルビー)	○				講義④～⑥の内容を、講義⑦の15分間で実施する。	
6	認知発達(ピアジェ)	○					
7	児童・青年期の発達	○				講義⑦～⑨の内容を、講義⑩の15分間で実施する。	
8	成人期の発達	○					
9	老年期の発達	○					
10	ライフサイクル論 (レビンソン)	○					